

シンガポール取引所(SGXL)

証券、デリバティブの取引活発化で増収増益、ナスダックとの提携も

シンガポール | 証券・商品先物取引 | 業績フォロー

BLOOMBERG SGX:SP | REUTERS SGXL.SI

- 2018/6 期 1Q (7-9 月) は、売上高にあたる営業収益が前期比 7.2% 増の 204.5 百万 SGD、営業利益が同 9.1% 増の 106.0 百万 SGD、純利益は同 9.1% 増の 90.7 百万 SGD となった。
- 証券とデリバティブの両部門の取引高が改善したことが寄与し、増収増益となった。
- 2018/6 通期の会社計画では、営業費用を 425-435 百万 SGD と見込み、テクノロジー関連の設備投資は 60-65 百万 SGD を想定している。2018/6 通期の市場予想は営業収益が前期比 7.1% 増の 858 百万 SGD、当期利益が同 8.8% 増の 370 百万 SGD である。

What is the news?

2018/6 期 1Q (7-9 月) は、売上高にあたる営業収益が前期比 7.2% 増の 204.5 百万 SGD、営業利益が同 9.1% 増の 106.0 百万 SGD、純利益は同 9.1% 増の 90.7 百万 SGD となった。証券とデリバティブの両部門での取引状況の改善が寄与し、増収増益となった。

セグメント別の営業収益は、構成比で 49% の株式・債券業務は同 1.7% 増の 99.7 百万 SGD となった。株式・債券など上場に伴う収入は、債券の新規上場が前年同期 139 銘柄に対し 345 銘柄だったことにより同 6.6% 増の 13.0 百万 SGD となった。コーポレート・アクション収入は 5.2% 減の 9.1 百万 SGD。全体の営業収益の 25% を占める有価証券クリアリング収入などの有価証券トレーディング・クリアリング収入は同 8.7% 増の 51.2 百万 SGD。株式の 1 日あたりの平均売買代金は同 17.2% 増の 11.6 億 SGD、売買代金の合計額は同 17.7% 増の 732 億 SGD となった。構成比 39% のデリバティブ業務は営業収益が同 13.8% 増の 80.6 百万 SGD となった。SGX Nifty 50、FTSE ChinaA50 先物指数、Nikkei225 先物、鉄鉱石先物などの株式・商品先物が伸び、これらの営業収益は同 9.0% 増の 58.3 百万 SGD、約定枚数は同 15.2% 増の 4620 万枚となった。取引当たりの手数料は、デリバティブ取引の商品構成の変化により、前年同期の 1.85SGD に対して 1.13SGD となった。構成比 12% のマーケットデータ&コネクティビティは、営業収益が同 10.0% 増の 24.2 百万 SGD となった。

How do we view this?

同社は活発な市況のモメンタムは当面維持され、過去数年の水準まで戻ると見ている。同社は国際的な顧客基盤を確立し、アセットクラスを跨ぐ取引参加者を増やすため、設備投資や他の取引所との提携を計画している。10/18 には同社はナスダックと提携することで合意。両取引所に二重上場できるようにする。また同社は通貨デリバティブや証券化商品、債券など新しいアセットクラスを重視する方針である。2018/6 通期の会社計画は、営業収益が 425-435 百万 SGD、テクノロジー関連の設備投資が 60-65 百万 SGD である。2018/6 通期市場予想は営業収益が前期比 7.1% 増の 858 百万 SGD、当期利益が同 8.8% 増の 370 百万 SGD。

業績推移

※参考レート 1SGD=83.93円

事業年度	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6F	2019/6F
売上高(百万SGD)	779	818	801	858	903
純利益(百万SGD)	349	349	340	370	395
EPS(SGD)	0.32	0.32	0.31	0.35	0.37
PER(倍)	23.81	23.81	24.58	21.77	20.59
BPS(SGD)	0.91	0.92	0.97	1.02	1.09
PBR(倍)	8.37	8.28	7.86	7.47	6.99
配当(SGD)	0.28	0.28	0.28	0.31	0.33
配当利回り(%)	3.67	3.67	3.67	4.07	4.33

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) **0.31** (予想はBloomberg)
終値(SGD) **7.62** 2017/12/11

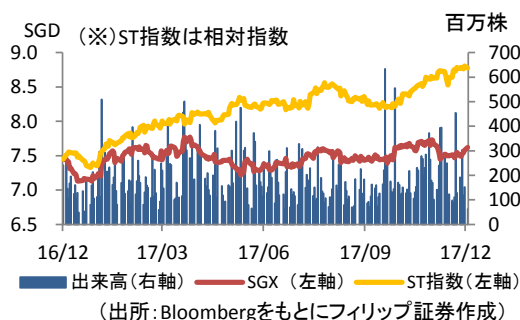
会社概要

1999年に創立。シンガポール国内の証券およびデリバティブ商品を扱う。取引所、クリアリングハウスを所有、運営する。金融市場関係者に対して補助的な証券処理業務、情報サービスを提供する。上場株式の40%、上場公社債の75%がシンガポール以外の海外企業が発行体であり、アジアで最も国際化が進んでいる取引所である。

中国、インド、日本、アセアンの株式インデックスでは世界で最も流動的なオフショア市場であり、コモディティ・デリバティブや通貨デリバティブも提供している。信用格付けはAAA格で、リスク管理と清算機能は世界的に評価される。

企業データ(2017/12/11)

ベータ値 0.95
時価総額(百万SGD) 8,162
企業価値=EV(百万SGD) 7,291
3ヵ月平均売買代金(千SGD) 14,441



主要株主(2017/12)

(%)
1.Sel Holdings PTE LTD 23.34
2.Vanguard Group 1.92
3.Blackrock 1.60

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

増淵 透吾
togo.masubuchi@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707
庵原 浩樹
hiroki.ihara@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

シンガポール取引所 (SGXL)

2017年12月11日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。